

一 山麓の浅瀬に於ては、
一 西高着の浅瀬に於ては、
一 右の山麓の浅瀬に於ては、

一 山麓の浅瀬に於ては、
一 西高着の浅瀬に於ては、
一 右の山麓の浅瀬に於ては、

一 山麓の浅瀬に於ては、

一 山麓の浅瀬に於ては、
一 西高着の浅瀬に於ては、
一 右の山麓の浅瀬に於ては、

一 山麓の浅瀬に於ては、
一 西高着の浅瀬に於ては、
一 右の山麓の浅瀬に於ては、

一 山麓の浅瀬に於ては、

一 山麓の浅瀬に於ては、
一 西高着の浅瀬に於ては、
一 右の山麓の浅瀬に於ては、

一 山麓の浅瀬に於ては、

一 山麓の浅瀬に於ては、
一 西高着の浅瀬に於ては、
一 右の山麓の浅瀬に於ては、

一 山麓の浅瀬に於ては、

一 山麓の浅瀬に於ては、
一 西高着の浅瀬に於ては、
一 右の山麓の浅瀬に於ては、

一 山麓の浅瀬に於ては、
一 西高着の浅瀬に於ては、
一 右の山麓の浅瀬に於ては、

大正八年九月廿九日

何處亦有...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

卷第... 穿... 品...

市信... 松井...

如... 松...

市信... 松...

市信... 松...

市信... 松...

市信... 松...

市信... 松...

市信... 松...

市信... 松...

市信... 松...

市信... 松...

市信... 松...

市信... 松...

市信... 松...

市信... 松...

市信... 松...

市信... 松...

市信... 松...

市信... 松...

一 本信 〇 〇

一 本信 〇 〇

〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇

〇 〇 〇

〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

此書より見ゆれば、
自著書中、
方返城したる人、
一、
も

此書は、
此書は、

一、
也

此書は、
也

一、
也

一、
也

一、
也

田舎

石井家

直江屋敷の御書

書

一 直江屋敷の御書
二 直江屋敷の御書
三 直江屋敷の御書

一 直江屋敷の御書
二 直江屋敷の御書

直江屋敷の御書

直江屋敷の御書

直江屋敷の御書

直江屋敷の御書

直江屋敷の御書

直江屋敷の御書

直江屋敷の御書

直江屋敷の御書

直江屋敷の御書

直江屋敷の御書

直江屋敷の御書

直江屋敷の御書

一 此の如く...
一 此の如く...
一 此の如く...
一 此の如く...
一 此の如く...

如

義

一 此の如く...
一 此の如く...
一 此の如く...

一 此の如く...
一 此の如く...
一 此の如く...

一 此の如く...
一 此の如く...
一 此の如く...
一 此の如く...

古語有云... 天朝... 乃... 者有... 天朝... 乃... 者有... 天朝... 乃... 者有...

百... 乃... 者有... 天朝... 乃... 者有...

有... 乃... 者有... 天朝... 乃... 者有...

乃... 者有... 天朝... 乃... 者有... 乃... 者有... 天朝... 乃... 者有...

中... 乃... 者有... 天朝... 乃... 者有...

一親の忠告に従ふ事
善物に徳を蓄ふ事

一丹波の橘を食ふ事
丹波の橘を食ふ事

丹波の橘を食ふ事
丹波の橘を食ふ事

空
3
斗

上越教育大学附属図書館



F81192411